

旅  
を  
す  
る  
世  
代  
。



記念日や誰かに贈るという特別な理由がなくても  
いまは、自分のために自分の好きな花を選びたい。  
あなたが出合い持ち帰った花は、  
長い旅を終えて、部屋のあちこちで静かに咲き誇る。  
まだ固いつぼみが咲き、花が開き、萎れていく。  
時間はちゃんと流れているということを実感させてくれる。

世界のどんな場所にも花は咲き、それぞれの日常に彩りを添える。  
すべての人にとって2020年は忘れられない年になる。  
今はまだ制限のあるわたしたちの生活に  
すこしでも心が和む時間がありますように。

## LIFE WITH FLOWERS

edit & text: Asuka Nakajo, Azusa Fukunaga  
photo: Haruki Anami, Akiko Yamaguchi  
text: Yukiko Imamura  
illustration: Takeshi Matsunaga  
design: Takenori Sugimura (OVAL)



むらかみちはるさん

Chiharu Murakami

「アトリエhalu」

アロマを使った健康診断で母親の体調がよくなったことを機にアロマの道へ。嗅覚反応分析士やアロマセラピストアドバイザーの資格を取得後、自宅ワークショップやアロマセラピストアドバイザーの養成講座を開講。

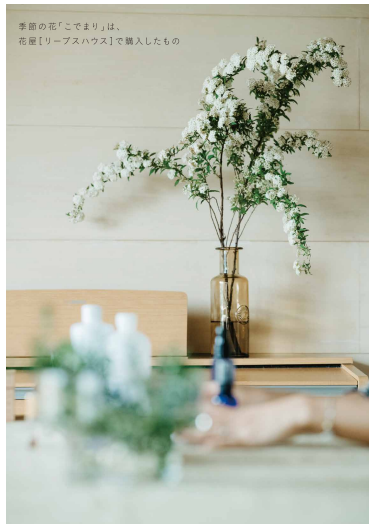
図 @halu

### おまじないのように飾る花。

一日のはじまりはリビングをリセットすることから。大きな窓から射込む光に満たされながら、庭で摘んだばかりの花やハーブをそっと生ける。お気に入りのテーブルクロスを敷いて、部屋中にアロマの香りがふわりと広がったら、朝の支度が完了した合図だ。

2017年に新居を建てたことをきっかけに、アロマセラピスト兼嗅覚反応分析士として自宅でワークショップや養成講座を開催するむらかみちはるさん。柔らかな物腰と持ち前のセンスにファンが多く、口コミで評判を得ている。「本来は人見知りで人前で話すなんて考えてもいませんでした」とちはるさん。その傍らには、花の存在が欠かせないという。「初対面の相手と向き合う時、間に花があることで会話のきっかけになってくれたり、場の空気を和ませてくれたり。花は気持ちを楽にするおまじないのような存在です」と笑顔を見せる。

「アロマと花に共通する“香り”は五感の中で唯一、本能に直結する感覚です。香りによって気分ががらりと変わったり記憶がフラッシュバックしたりするのは、原始的な意識に直結しているから。香りの好みを知るだけで性格や心身の状態までわかるんですよ。そんなちはるさんの好きな花は、うっかりお世話を忘れても咲き続けるたくましさのある花。「華やかな花ももちろん好きですが、向き合った時に自然体の自分で居られる花の方が私にはしっくりくる気がします。部屋に飾る花について尋ねると「家の前の畑で摘んだもの。畑仕事は家族みんなで花や季節の野菜を育てています」と笑う。飾る花も、食べるものも、すべてでなくとも自分で育み、自然を慈しむ心を忘れないこと。日々の暮らしに目を向けたならば、花はおのずと笑いかけてくれるのだ。



季節の花「こでまり」は、花屋「リースハウス」で購入したもの

誰かを思い浮かべて贈る花、道端に咲く何気ない花、自分のために選ぶ花。そのどれもが変わらず愛おしい。

花とともに暮らすあの人は、どんな風に花と付き合っているのだろうか。花とライフスタイルのエッセンスを求めて、暮らす人の元を訪ねた。

花と暮らす人。

### LIVING WITH FLOWERS



高田小野花さん

Sayaka Takata

中学生の長男と小学生の長女を育てる2児の母。服飾専門学校を卒業後、アパレル業界、コスメ専門店を経て帰郷。暮らしを大切にすることを第一に、現在はオーガニックな食事を提供するカフェで働く。

図 @sayaka

### 花は、いつも明るい方を向いている。



古道具屋でひと自惚れした花器に、シロツメクサを浮かべて

「子どもの頃、両親と喧嘩をしたらよくここに逃げ込んできていましたね」と庭先の木蓮の花を眺めながら懐かしそうに話した高田小野花さん。ここは小野花さんの叔母夫婦が長年住んでいた築50年の古民家で、数年前空き家になっていた家を「心地よい風が入る場所だな」と感じ、受け継いだ。そのままだった家財道具は処分したり、丁寧に磨き上げたりしながら、少しずつ暮らしを整えてきた。自分らしい空間にするために大切にしてきたことは花を飾ること。

「花を見つけるのは大抵お気に入りの花屋[Hymy.]か、散歩の途中のあぜ道、実家の庭先。薦の袴まったブロッケンや草むらの中に人知れず咲いている花を連れて帰ることもあります。つい見過ごしてしまいうような花も、小野花さんの眼には素敵なきらみに映る。「このシロツメクサも散歩の途中で摘んだもの。長い茎が

ガラスの中で泳ぐ姿がいいなって。朝、水替えをして窓辺に置いておくって、夕方には必ず太陽の方を向いているんです。どんな時も明るい方を向こうとする花は、今の自分の心持ちと重なります。」

以前は仕事で忙しかった日々を過ごす中で、花を枯らしてしまふこともあったとか。「枯れかけた花のいらぬ葉を落としてあげたらどんどん新芽が出てきました。日を持っていくんだとハッと。その時“私は暮らしを大切にしたいんだ”と気づかされました。それからは家の掃除をたくさんして、花を飾って、なるべくご飯を3食作るようにして。次第に部屋の空気も生まれ変わったように感じます。暮らすことは自分の内側を見つめること。花は、しなやかに生きる指針を示している。



左/お気に入りの雑貨と花を並べたチェスト 中央/花や野菜を家族で少しずつ育てる畑にて 右/花を機ひ替り改めて観察すると、意外な魅力に気づくこともあります。ちはるさん

### Her Rules

- 01 人を招くときには花を飾る
- 02 ドライになっても素敵なお花を買う
- 03 家族の畑を大事にする



左/元々あった椅子とお気に入りの椅子を組み合わせたコーナー 中央/「特別な花器はないけれど」と小野花さん。花は一種類ずつ生けるのが好き 右/視線の先にもいつも花が映る。背の高い花を飾っていたのはパスタの瓶!

### Her Rules

- 01 お味噌汁を作る間に花の世話をする
- 02 花屋以外でも花をみつける
- 03 花の姿勢に生きる指針を見出す

vol. 2

Hymy.の  
上田ナルミさんに訊く花の生け方



上田ナルミ | フローリスト |

Narumi Ueda

心引かれる花屋での修行、フリーランスで「ハナタイ」の活動を経て2018年8月に[Hymy.]をオープン。枝や葉ものグリーン系を中心に、さやかな花々でお客さんを癒す。

Hymy. 熊本市区区役所26-17さくら花アパート2号室  
ヒュミョ 096-360-2811 12時~19時 木曜休  
アパートの1室をリノベーションしてつくった空間は、秘密の小室に誘われているような佇まい。花束1,100円〜、アレンジ3,300円〜。

ig @hanoya\_hymy

“家にあるモノは何でも代用。

自分で選び飾ることで

花への愛情はますます深まります”

派手な花より、暮らしにずっと馴染む花。野花をそのまま重ねたようなナチュラルな組み方は、本人の飾らない印象にぴたりとハマる。1本1本の花を慈しむように花束を紡いでゆくフローリスト・上田ナルミさんは、「花を生けるのに高価な花器は必要ありません」と教えてくれた。せっかく自分のために花を買ったのだから、部屋でうまく飾ることを覚えたら、その幸せな気持ちはきっと長く続く。

「しいて言えば大・中・小、3つのサイズの器があるとバリエーションは広がります」と前置きをしたらうて「ジャムの空瓶、トマト缶、ガラスのコップ…家にあるものは何でも花器に代用できますよ。ちょっとしたテクニックを知って、やり始めたらどんどんコツがわかっていくのです」。

ブーケの状態では花器にバサッと入れても小分けにしても自由。花を長持ちさせるためには“水揚げ”を行う、風通しのよいところを選ぶなどいくつか気をつけておくべきことを知ることが大事だが、わからないことはその都度花屋に訊けばいいという。部屋のあちこちに、暮らしを豊かにする種は転がっている。生活に寄り添う花のあたらしい生け方のアイデアを見つきたい。

## 家にあるモノで花を飾ってみた。



01

花の姿がピタッと決まるガラスジャーナルミさん曰く、「口がせまく底が広い」ガラス瓶がもっとも優秀だそう。テクニック要らずですぐ真似できる。

02

シンプルな籠だって花器になる！森でそのまま詰んできたような可憐な花束をボウルに入れて、さらに籠の中へ。見た瞬間に優しく、幸せな気分になる。

03

同じ小瓶に小分けするのがコツ買った花束を3つに分けて、ガラスのコップにシンプルに生けてみた。不思議とそれぞれに表情が違ってみて面白い。

04

時には生け花のように生けてみる質感のある器を選び、水を取り、花の色や形などのバランスを意識して浮かべるだけ。ひとつずつ生けていくのがコツ。



GLOW MY FLOWERS

愛育花の  
し方、方、

LOVE MY FLOWERS

その花と過ごす数日間を想像すれば、胸がときめく。まずは飾つてみて、1本の花を最初から最後まで愛でてみる。花器がなければ、ジャム瓶でもワイングラスでもいい。花を愛する人たちに花の育て方、生け方を聞いた。

vol. 1

ANGEL FLOWER WORKの  
奥村裕子さんに訊く花の育て方

“つぼみから朽ちていくまで。

部屋を纏う空気を変える

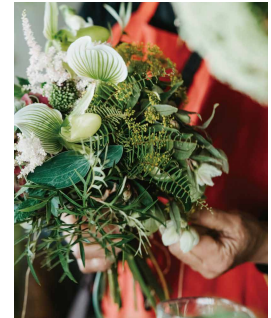
花の一生を楽しんで”

そろそろ大人の楽しみとして花を買うこと、贈ることを日常としたいの、なかなか生活に密着した行為にならないのは、買ったあとの育て方がわからないから…という人も多いだろう。では買った時のときめきをそのままに、花を長く育て、愛するには？

フローリスト・奥村裕子さんは「つぼみから朽ちていくまでの花の一生を楽しんでほしい」と話す。まずは思い通りに家の好きな場所に飾り、それから大胆に吊り下げてみたり、最後の方は小さなコップに浮かべたり…季節に応じたメンテナンスや処理を行い、「最後まで身近なものとして愛してほしい」という花への愛情が伝わる言葉だ。

南坪井町に1998年から18年にわたって店を構えた[ANGEL FLOWER WORK]は、現在は店舗をもたない花屋として、直接オーダーを受けて花を組むというシンプルな営業スタイルにシフトした。今も昔も変わらず支持を集めているのは、どの角度から見ても花の愛嬌が凛と映え、ロマンティックな色合いで美しい景色を創り出す花束だ。

「1,000円のブーケを買う日があってもいいし、一輪に1,000円かける日があってもいい」と裕子さんは続ける。「自分の感情が高まるものなら何でも」と。こんな時だからこそ、花屋という存在が心のバロメーターになることがある。インテリアやオブジェとはまた違い、花を飾ることで、その空間に生き生きとした広がり生まれる。部屋のなかに四季を飾るつもりで、いま目の前にある旬を味わいたい。



奥村裕子 | フローリスト |  
Yuko Okumura

会社員時代から花の勉強を始め、1998年に南坪井町に店をオープン。その審美眼に惚れ込んださまざまな業界のファンが多い。現在は店舗をもたず、電話やwebでオーダーを受け。

ANGEL FLOWER WORK  
エンジェルフラワーワーク

☎ 090-7169-1789 ☎ 096-325-1789  
注文は電話やHPのオーダーフォームより受付。フォームの注文は2日前まで、例外は3日前。電話注文は1日前まで、花束1,000円〜、アレンジ3,300円〜。自宅用の切り花セットも好評。配達は3,300円〜 (別途配達料)

ig @angelflowerwork  
ig @Angel Flower Work

FLORIST  
01 in the sun FLOWER



01 オランダへの留学経験もある下川三佳さん。生け花の影響を受け、グリーンを多く使った“グッチスタイル”の組み方を提案してくれる。02 植物の自然なラインに沿った個性的なアレンジが特徴。ロマンティックで詩的な雰囲気も漂う。03 店は2019年6月にオープン。「最近面白い花屋ができたらしい」と興業者からの注目度も高い

FLORIST  
02 maaaru maaaru



01 開業者からのサポートも大きいオーナー・堀さんのもとで修行を積んだフロリスト・後藤由衣さん。02 本店の【FINE】同様、キーパーを置かないスタイルで。みずみずしい花に埋め尽くされた店内は、物語の世界に迷い込んだかのよう。03 「可愛すぎてずっととってみたい」と思われるような、美しいブーケをつくりたいと話す

FLORIST  
03 A FLOWER MARKET



01 扉を開けると花屋らしからぬギャップに驚く。「ハッと目の覚めるような派手な色合いに仕上げた」のがコンセプトと話す本田あずささん。02 コロンと丸いアレンジを得意とし、絶妙な色合わせと甘い香りが心地よく鼻をくすぐる。03 花の色合いを惹きたため、キーパーはシンプルな白い紙を採用している

FLORIST  
04 ECHO.



01 花の専門学校を経て、福岡・熊本で修行を積んだ都金入りの花のバニー・その師からの人柄もあり、唐に根付いた花屋になってきている【ECHO】。02 野趣が伝わる花やグリーンとの見事なような花も多い。フロリスト・堤玉すみれさんは「好きな色のジャンルを見つけたい」と話す。03 ショッピングバッグのような吊り下げで運べる「フラーバッグ」が大人気だそう



個性派揃いの  
熊本のフロリスト。



彼女たちにしかつくれない世界観で提案してくれるのは  
見慣れた景色を変えてくれるような花、  
植物に触れるシンプルな喜びを教えてくれる花だ。  
いまの熊本のスタイルを代表する新しいフロリストを紹介する。

4 FLORISTS IN KUMAMOTO



街なかを巡り  
出会った4人の  
フロリスト

ふだんから花屋を日常使いする人も、これから詳しく知りたい人も。ほとんどの人に「とって花との出会いの場は『花屋』になるだろう。自分のために買うのはもちろん、もらったとしても、贈ってうれしい。店を出るときにはもって花が好きになっていく...そんなフロリストに会いに、熊本の街なかをめぐる。

「ビルの中にある花屋?」一抔の不安を抱えつつ上乃裏通りの雑居ビルの最上階にある一室を尋ねると、アーティスティックなインテリアのようないびつな空間が広がっていた。「in the sun FLOWER」のフロリスト・下川三佳さんは、音楽業界から転身してこの世界に入ったという一風変わった経歴の持ち主だ。静謐な空間には、枝のや実のものなど個性的なラインアップが息をひそめる。良い意味で、クセの強さ。が光る花材選びは唯一無二。そうして仕上げたような花束はあるアレンジが印象的だった。「自然の流れを感じさせる花を作るのが好きです」。

花を介して人と花、花と地域がまあるくつながっていきようなイメージから店名はつけられた。

「maaru maaaru」は、長きにわたって熊本の花好きに愛される上乃裏の名店【FINE】の姉妹店。シャワー通りのそばにある店は、その空間だけが鮮やかな色彩に包まれているように華やかだ。店は、花業

in the sun FLOWER  
インザサンフラワー  
熊本中央区水産町4-11 アートビル64F-4C  
☎096-273-6169 12時~19時 不定休  
花束2,200円〜、アレンジ3,300円〜  
📍 @in\_the\_sun\_flower  
🌐 https://www.inthesunflower.com

maaaru maaaru  
マールマール  
熊本中央区新市街12-24  
☎096-2511-8763 12時~20時 水曜休  
花束550円〜、アレンジ3,300円〜  
📍 @maaru\_shop  
🌐 @fine.henayasan

A FLOWER MARKET  
エフフラワーマーケット  
熊本中央区錦兵衛2  
☎096-326-3315 10時~18時 日曜休  
花束1,100円〜、アレンジ3,300円〜  
📍 @a\_flower\_market  
🌐 @flowermarket

ECHO.  
エコー  
熊本中央区新町2-10-10 田ビル6101  
☎096-3993-0087 11時~19時 水曜休  
花束1,100円〜、アレンジ2,200円〜  
📍 @echo.flowershop  
🌐 @echo.flowershop

界のアニキ的存在であるオーナーの堀さんに学んだフロリスト。後藤由衣さんが切り盛りする。由衣さんは、ちゃんと本物を学びたい」と会社員を経て堀さんに師事。パリの街角にあるような店内、敬愛する編集力でディスプレイされる花々は、まるでそれぞれが作品のよう。心地よい。

アーティスティックなアレンジや花束に定評があるのが【A FLOWER MARKET】のフロリスト・リアを経てこの世界に飛び込んだあずささん。「最初は花の名前もほとんど知らなかったというから驚きだ。花の運びかたも自分もすべてが独学」とはいえ、いまだからこそ。花屋然としない店構えや、花の個性と個性が響き合う見せ方は見事だ。うちの花はとにかく派手。華やかに、鮮やかに仕上げたい。

「音楽やファッションを楽しむように気軽に花に触れてほしい」と明確なメッセージを届けてくれる注目のフロリストが現玉すみれさんだ。2019年12月に新町にオープンした【ECHO】は、家に飾る一本からブーケまで相談のつてくれる心強い。街の花屋。「花屋に通う、花の相談に乗るという対面販売の楽しさを伝えたいお客さんから『つづきまが聞きました!』と連絡がくるとうれしい」とこやかに話す。積極的に更新される同店のSNSからは、暮らした花を取り入れることの幸福度が伝わる。花束を吊り下げて運べる「フラーバッグ」は完成した花束を何度眺め、街を歩いて自慢したくなるとおきのギフトだ。

# ふだん使いの花屋さん

## FLOWER SHOP GUIDE



以前のように外出をするのが  
難しくなった今だからこそ。

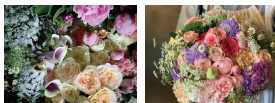
住まいに潤いをもたらし、平凡で穏やかな  
日常に寄り添ってくれる花を選びたい。

※状況によって営業時間や店休日などが変わる可能性があります。  
最新の情報はお電話やSNSなどで確認してください。



### Dahlia

ダリア



イベントでも人気！ さり気ない存在感が素敵

マルシェ出店なども行う【ダリア】。ウェディングブーケを中心としながらプレゼント用のアレンジメントも人気で、多くのファンを魅了しています。1週間前の予約で発送可能なため、遠く離れた方への贈り物にもおすすめです。

熊本市北区輸水2-8-11ニレノキハウス104 ☎ 090-5730-8011  
10時～19時 休なし  
花束3,300円～、アレンジ3,300円～  
☎ @dahlia0719  
※現在在店休業中、再開日やサービスの詳細は電話で確認を

### T-FLOWERS

GIFT&CAFE

ティーフラワーズ



花と過ごす時間を カフェでゆるりと満喫

丁寧な暮らしを提案してくれる花屋業カフェ。今村さんご夫妻のセンスが光る季節を大切にした花やドライフラワーが美しい。家にあるグラスで簡単に飾ることが出来るグラスブーケも好評。

熊本市西区二本木5-3-6 ☎ 096-355-8787  
10時～19時(日曜は～18時) 火曜休  
花束3,300円～、アレンジ3,300円～  
☎ @tflowers114 ☎ @tflowers.kumamoto

### AYANAS

アヤナス



一輪一輪の花の美しさを大切にしたい花屋

店主が目で見たい「美しい」と感じた花だけを仕入れ、一輪一輪が美しく見えるように仕上げるという【アヤナス】。店名通り、花束やアレンジメントはそれぞれの花が様々な美しさを生かした仕上がり評判です。

熊本市中央区京町1-12-27 ☎ 096-324-6944  
9時～19時 不定休  
花束1,000円～、アレンジ1,500円～  
☎ @ayanas096 ☎ @ayanas096

### printemps

printemps



「毎日の生活に花を」花に癒される暮らしを提案

ありのままの花が持つ美しさに丁寧に向き合い、「特別な時はもちろん、毎日の生活に花があれば」と切り花一本から購入できます。上流の高級店という立地ながら、店の前に駐車場があるのも嬉しいポイントです。

熊本市中央区上通町11-14-1F ☎ 096-352-1380  
13時～19時(日曜・祝日は～18時) 水曜前日午後閉店外も対応 火曜休  
花束2,200円～、アレンジ3,300円～  
☎ @printemps1007 ☎ @printemps2008

### flower FINE bits & bobs

フラワーファイン

ピツアンドボブス



男性フローリストの感覚が生きた、熊本を代表する老舗

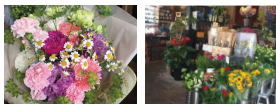
仕掛けやオブジェを使ったアーティスティックな空間デコレーションは、まさに【FINE】ならではのセンス。この道28年のキャリアをもつ業界の老舗。癒される花への愛あるアプローチ、美意識に溢れるポイントです。

熊本市中央区南坪町2-6黒土ビル1F ☎ 090-1775-2348  
11時～20時 不定休  
花束2,000円～、アレンジ3,300円～  
☎ @flowerfine1010 ☎ @fine.hanayasan

### フラワーハウス

Noël

ノエル



一輪からブーケまで、わがままを叶えてくれる街の花屋

花束やアレンジに加え、サンドアートなども扱う。下流の「街の花屋」的存在。一輪から個人でくれるので、自分用にもさり気ないプレゼントにもピッタリ。気軽に手紙や贈り物などを相談できるのも人気の理由です。

熊本市中央区下通1-8-15ありあビル1F ☎ 096-351-8787  
11時～20時(金・土曜は～24時) 休なし  
花束1,100円～、アレンジ2,200円～  
☎ @noel.flowerandgreen ☎ @flower green noel

### lamp.flower

ランプ



いつもあることが自然 生活に寄り添う花たちを

「花のすばらしさをたくさんの方に感じてほしい」と創業したのは、一輪でも自然と飾りたくなる花たち。グリーンや小花をたくさん使ったナチュラルな雰囲気が特徴で、ドライフラワーのアレンジメントも行っていきます。

菊池部南町原水1356-9 ☎ 096-232-7037  
10時～19時 火曜休、不定休  
花束1,100円～、アレンジ2,200円～  
☎ @lamp\_flower ☎ @lampflowermarket  
※現在在店休業中、再開日やサービスの詳細は電話で確認を

### BIGDOOR

ビッグドア



おうち時間が楽しくなる「おうち便」が人気

県内各地でポップアップを行い、スワッグやリースなどを制作できるワークショップなども人気です。4,400円～配達可能で、暮らしに寄り添う花を提案してくれます。配達範囲や予算など、詳細は問い合わせてみて。

宇城市松崎町久員608-2 ☎ 0964-32-6416  
12時～19時 不定休  
花束1,100円～、アレンジ4,400円～  
☎ @bigdoor228 ☎ @bigdoor  
※現在在店休業中、再開日やサービスの詳細は電話で確認を

### フローリストかずや



人生のさまざまなシーン在花を支える心強い存在

日帰り便からお祝い用、仏事用、スタンドフラワーなどの特別な日を送るものまで、見た人の心に残る癒しの花を提案。定期的に体験レッスンやフラワー教室を開催するなど、花好きの心を幅広く癒やしている花屋です。

玉名市高瀬461 ☎ 0968-74-3666  
9時～18時 休なし  
花束1,650円～、アレンジ3,300円～  
☎ @florist.kazuya ☎ @フローリストかずや

### Flower Shop Green & Red

グリーンアンドレッド



お部屋の雰囲気を一気に変えてくれる花たち

ファッションショーやライブイベントの装飾を手がけるなど、斬新な演出に定評のある花屋。花が持つ個性を生かした唯一無二のアレンジメントは、眺めているだけで癒されるはず。姉妹店の【Green&Red racine】も一緒に。

熊本市北区輪4-13-15 ☎ 096-337-5351  
9時～20時 不定休  
花束1,100円～、アレンジ2,200円～  
☎ @flowershopgreenandred ☎ @flowershopgreen&red

一輪の花が特別な意味を持つお茶の席。茶道の世界から花という存在を見つめると、どのような世界が広がっているのだろうか。その向こうに見える景色を知りたい。『日月茶会』の木本智子さんを訪ねた。



I FEEL "CHANO-HANA"

茶の世に  
触れる。

今、ここに在る  
想いを花に託して。

熊本市中心部から車で10分ほど。立田山公園の自然にすぐ手が届く距離に木本智子さんの稽古場はある。「お茶の先生をしていた祖母が自宅兼稽古場として家を建てたのは20年ほど前。今は昔懐かしく一番きれいな時期ですよ」と案内されるが、まっすぐ上る。幾重にも重なり合う新緑が美しい緑のトンネルを成している。茶室へと歩を進めると待っていたのは、一輪の白い紫の花と掛け軸。そして茶道具。亭主の智子さんがふわりとした笑顔で「今日は皆さんに、薄茶を飲んでいただきますね」と声をかけると、端とした所作でお茶を点てた。静かに差し出された茶碗には、クレマチスの花が描かれている。「今日の茶碗は夏の花、鉄仙がモチーフです。茶席では季節感のあるアイテムを大切にしますが、中でも花は一番季節感が如実に表れるもの。それは、匂いの花が最も力があって美しいとされているから、花は茶道具の中でも唯一呼吸をしているもので、亭主が席を立つ間、亭主に代わってお客さまをもてなすという重要な役割を担っているんですよ」。茶道の起源は諸説あるが戦国時代に今の形式が生まれている。いつか命が断たれるかわからない中、武士たちは仲間意識を高め、自らの心を律するため、道として茶道を確立した。一期一会の場だからこそ魂が籠る。「日常が続かないことを当時の人はよくわかっているからこそ、その場の有難みを噛みしめるように空間を共にしたのだと思います」。そう語る智子さんに、お茶の席で大切なことは？と問うと「大切なことはしっかりとこの瞬間に心と身を置くこと、それだけです。人は案外過去と未来にしか生きていないもの。お茶の席では、花も人も同じなんです」。今この瞬間に意識を置く。それだけで、見える世界は変わってくるのだ。



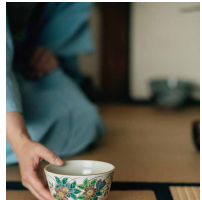
「お客さまには普段お見せしないのですが、庭の奥には一年間分の茶碗に用いる花を育てています」。蓄むした庭の雑草は木本智子さんから取り除かれている



季節のお菓子の名前は「花吹雪」。鮮やかな抹茶の線と和菓子のピンクのコントラストが見る人を楽しませてくれる



基本にお茶の席では、洋の花のようになくさんつけることはしない。それは「茶に余白を残し、人も花も完璧でないものに美しさを生かす」という考えが根底にあるからだとか



茶碗に描かれた鉄仙の花、菓物の水色、新緑の紅葉の葉とよく似た鮮やかな緑の抹茶。初夏を感じる色合わせにうっとり

### 木本智子 | 日月茶会 | 主宰 |

Noriko Kimoto

現在95歳になる祖母を師として、18歳から茶道の道へ。師範として教習を運営する傍ら、お茶の魅力を広めるべくさまざまなイベントの企画・出席を行う。「世界を知らぬは面白くない」をコンセプトに、大人の夜間学校「星月学塾」を隔年で開催中。表千家講師。

☎ @nichigetuchakai